



埼玉県営水道マスコット
「ウォー太郎」

令和3年度 第1回埼玉県企業局経営懇話会



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

日時：令和3年7月21日（水）
午後2時から午後4時まで
場所：埼玉会館2階ラウンジ

令和3年度 第1回埼玉県企業局経営懇話会 次第

1 開会

2 公営企業管理者 挨拶

3 座長互選、副座長の指名

4 報告事項

(1) 令和2年度 公営企業会計決算概要

(2) 令和2年度 企業局経営懇話会（令和2年7月31日開催）の対応状況

5 議題

(1) 今後の施策（経営面）について

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和2年度進捗状況の評価

(3) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和3年度目標数値の設定

6 その他

「次期（第5次）企業局経営5か年計画」作成に向けた状況

7 閉会

1 開会

2 公営企業管理者 挨拶

埼玉県公営企業管理者 北島 通次

3 座長互選、副座長の指名

4 報告事項

- (1) 令和2年度 埼玉県公営企業会計決算概要
- (2) 令和2年度 埼玉県企業局経営懇話会（令和2年7月31日開催）
の対応状況

(1) 令和2年度 公営企業会計決算概要

I 工業用水道事業

令和2年度 公営企業会計決算（工業用水道事業）

令和3年6月
企業局

業務概要

地下水採取による地盤沈下の防止と産業基盤の整備を図るため、工業用水を給水。

○給水区域

草加市、八潮市、蕨市及び戸田市の全域並びにさいたま市及び川口市の一部（工業用水法による地下水汲み上げ規制区域である県南東部地域）

○給水事業所数 146事業所（前年度 150事業所 △4）

○料金単価 22円53銭 /m³（税抜、前年度と同額）

○給水契約水量 182千m³/日
（前年度 183千m³/日 △0.6%）

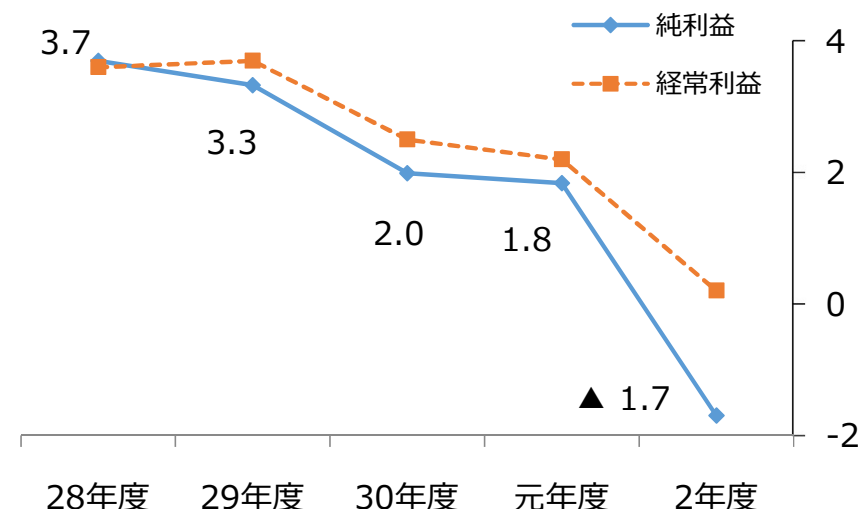
○企業債残高 2億7千1百万円（前年度比 △28.3%）

決算概要

単位：百万円

	2年度	元年度	増減額	増減率(%)
事業収益	1,791	1,762	29	1.6
（うち給水収益）	(1,558)	(1,579)	(△21)	(△1.3)
事業費用	1,962	1,578	384	24.3
純利益(△は純損失)	△171	184	△355	△193.2
うち経常利益	22	225	△203	△90.3

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- 大久保浄水場沈でん池撤去1億9千3百万円の特別損失の計上により21年ぶりの赤字となったが、計画的に施設のダウンサイジングを実施したものの。
- 令和2年度は、修繕工事、施設の更新に伴う除却の費用が、1億9千4百万円増加したが、2千2百万円の経常利益を確保。

(1) 令和2年度 公営企業会計決算概要

Ⅱ 水道用水供給事業

令和2年度 公営企業会計決算（水道用水供給事業）

業務概要

河川表流水（荒川・利根川水系）を水源として、県内5つの浄水場から水道事業者55団体（58市町）へ水道用水を供給。

- 実績給水量 1,739千m³/日
(前年度 1,743千m³/日 △0.2%)
- 料金単価 61円78銭 /m³ (税抜、前年度と同額)
- 企業債残高 1,143億4千3百万円 前年度比 △6.1%)

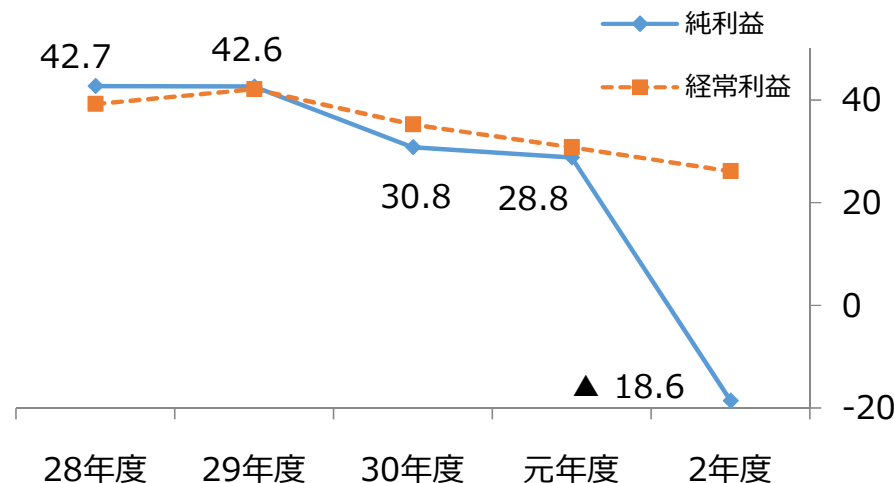
決算概要

単位：百万円

	2年度	元年度	増減額	増減率(%)
事業収益	49,879	44,403	5,476	12.3
(うち給水収益)	(39,234)	(39,403)	(△169)	(△0.4)
事業費用	51,742	41,522	10,220	24.6
純利益(△は純損失)	△1,863	2,881	△4,744	△164.6
うち経常利益	2,608	3,083	△475	△15.4

- ・ 霞ヶ浦導水事業撤退に伴う損失等43億7千4百万円。
- ・ これにより当年度は前年度比47億4千4百万円減の18億6千3百万円の純損失。

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- ・ 施設の老朽化に伴い、修繕費等の維持管理費は増加傾向。
- ・ 令和2年度はハッ場ダム稼働に伴い減価償却費が増加したが、26億8百万円の経常利益を確保。
- ・ 特別損失の計上により29年ぶりの赤字となったが、未処分利益剰余金充当により、累積欠損は生じない。

(1) 令和2年度 公営企業会計決算概要

Ⅲ 地域整備事業

令和2年度 公営企業会計決算（地域整備事業）

業務概要

地域経済の活性化や雇用機会の拡大などを目的に、産業団地等を造成。

○事業実施地区（9地区）

- ①草加柿木地区 ②松伏・田島地区 ③川越増形地区
 ④行田富士見地区 ⑤嵐山花見台地区 ⑥富士見上南畑地区
 ⑦鴻巣箕田地区 ⑧寄居桜沢地区 ⑨羽生上岩瀬地区

○分譲収入

草加柿木地区 135億7千万円（6/9区画）

（前年度 80億9千9百万円

加須IC東地区、寄居スマートIC西地区）

○団地貸付収入

6団地22社 48.7ha 4億2千9百万円（前年度 同額）

○ゴルフ場施設貸付収入

吉見、大麻生、妻沼ゴルフ場 2億8千5百万円
 （前年度 3億1千5百万円 △22.2%）

※妻沼ゴルフ場は令和2年6月で営業終了。
 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休業により5千2百万円を減額。

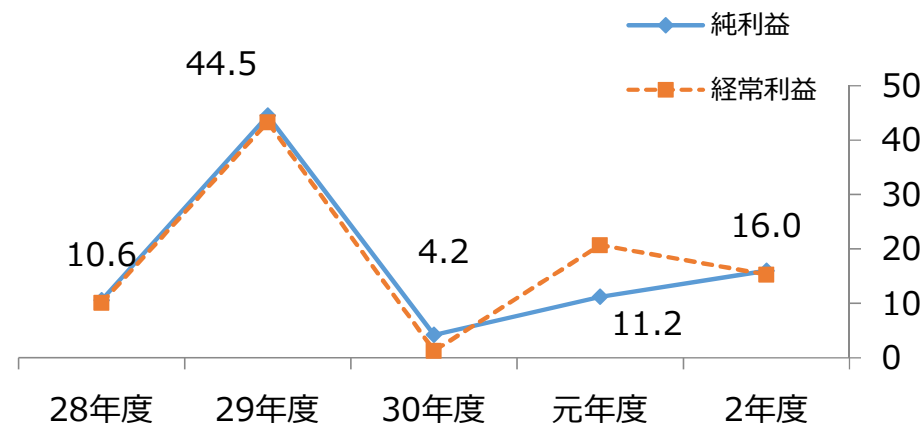
決算概要

単位：百万円

	2年度	元年度	増減額	増減率(%)
事業収益	14,474	9,000	5,474	60.8
事業費用	12,876	7,884	4,992	63.3
純利益	1,598	1,116	482	43.1
うち経常利益	1,527	2,072	△545	△26.3

- 草加柿木産業団地の分譲利益11億7千1百万円
 （分譲収入135億7千万円－売却原価123億9千9百万円）

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



(2) 令和2年度埼玉県企業局経営懇話会（令和2年7月31日開催）の対応状況

事業	発言要旨	対応状況など
工業用水道事業・水道用水供給事業	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産減価償却率は施設の老朽化の状況が分かりずらく、例えば管路の老朽化は十分管理していないのではないか。 管路の老朽化は企業局として大きな問題。それを表現できるとよい。 水道施設整備計画に基づく更新工事の実施率は老朽化対策の判断になる。 	<p>これまで施設の老朽化対策としてアセットマネジメントに基づく修繕や更新に取り組んできた。現在、更新計画の見直しを行っている。特に管路更新については計画通り進んでいない事もあり、AIを使って管路破損リスクを診断するなど、新たな視点での計画も検討している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 将来、更新時には補助金がないことを想定すると、経常収支110%くらいでないと料金で経費を回収はできないのではないか。 	<p>今後、将来の施設更新等を加味し、資産を適切に維持していくことも考慮し料金の算定方法について検討している。</p>
地域整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 産業団地で通信インフラを整備すべきではないか。 	<p>今後、DX（デジタルトランスフォーメーション）の観点から企業局による整備の是非を研究していく。</p>

5 議題

- (1) 今後の施策（経営面）について
- (2) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和2年度進捗状況の評価
- (3) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和3年度目標数値の設定

(1) 今後の施策（経営面）について

- 1 水道管路の老朽化対策
- 2 中長期的な収支見込と水道料金への影響
- 3 組織、人材育成の在り方

1 水道管路の老朽化対策

課題

- 市街地での管路の更新工事は工事用地がないため困難が伴う。
- 生活や産業に影響しないように工事を行う必要がある。
- 水道用水約780km、工業用水約190kmに及ぶ更新工事には多額の費用と時間を要する。

お伺いしたい点

- 生活や産業へ影響を与えない（断水や交通遮断等をしない）制約の中で、費用や時間面で効率的な更新工事の方法について

2 中長期的な収支見込と水道料金への影響

課題

- 給水収益は減少傾向が見込まれる一方で、管路更新など追加投資は必要な中で、今後の料金改定の検討が必要。

お伺いしたい点

- 人口減少時代の持続可能な経営戦略の立て方（投資と財源の関係）について
- 料金改定にあたって必要な視点、説明方法（県民、受水団体、事業者）などについて

3 組織、人材育成の在り方

課題

- 熟練職員の技術、知識の若手職員への円滑な継承が求められる。
- 職員が働きやすく、活躍できる取組が求められている。

お伺いしたい点

- 未来を見据えた望ましい組織や人材育成の在り方などについて
- 女性活躍、シニア活躍の取組の事例、視点などについて

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和2年度進捗状況の評価
 (3) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和3年度目標数値の設定

■進捗状況管理シート（概要版）の構成

施策の方向性			H29	H30	R1	R2	R3
計画期間中の目標		年度目標指標 (単位)	目標	年度目標数値			
			実績				
令和2年度 進捗状況評価 ※評価指標	評価の理由						

※評価指標

A	計画期間中の目標は達成しており、 アクションプラン全体の進捗状況は良好と判断する。
B	計画期間中の目標は達成していないが、 施策全体として進捗状況はおおむね順調と判断する。
C	今後も目標達成は難しく、 計画の見直しが必要と判断する。

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和2年度進捗状況の評価
 (3) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和3年度目標数値の設定

I 工業用水道事業 進捗状況管理シート (概要版)

1 健全経営を維持するため収益を確保します。			H29	H30	R1	R2	R3
年間新規獲得の受水契約量 (年間1,000m ³ /日)	累計 (m ³ /日)	目標	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000
		実績	156	351	2,546	3,194	
B	アクションプランは新型コロナウイルスの影響を除けば概ね目標指標に達しているものの、年度目標の数値を達成することはできなかったため、B評価とする。ウィズコロナ・アフターコロナに対応した営業活動の強化を図るなど、引き続き計画期間中の目標達成に向け更なる努力が必要である。						
2 事故・災害に強い工業用水道事業を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
柿木浄水場施設の耐震化率 (60% : 6/10施設)	(%)	目標	0	0	30	40	60
		実績	0	0	0	10	
B	アクションプランの進捗状況は良好だが、計画期間中の目標を達成できなかったため、B評価とする。						
3 安定給水を持続するための強固な経営基盤を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率 (100%以上を維持)	(%)	目標	100	100	100	100	100
		実績	125.9	116.2	114.9	101.2	
有形固定資産減価償却率 (平成28年度 (= 71.4%) 水準に維持)	(%)	目標	71.4	71.4	71.4	71.4	71.4
		実績	68.0	69.1	69.2	67.8	
A	計画期間中の目標を達成し、アクションプランについても年度目標を達成して進捗状況は良好なため、A評価とする。						

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和2年度進捗状況の評価
 (3) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和3年度目標数値の設定

II 水道用水供給事業 進捗状況管理シート (概要版)

1 県民生活を支える安全な水を安定的に供給します。			H29	H30	R1	R2	R3
水質基準不適合率 (水質基準不適合回数/全検査回数 = 0%)	(%)	目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0
安定水利権の割合 (安定水利権: 100%)	(%)	目標	70	70	70	100	100
		実績	70	70	70	100	
A	計画期間中の目標を達成し、アクションプランについても年度目標を概ね達成し進捗状況も良好なため、A評価とする。						
2 事故・災害に強い水道を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
浄水施設の耐震化率 (耐震化率: 84%)	(%)	目標	71	80	84	84	84
		実績	72	79	85	88	
備蓄水量の確保 (備蓄水量: 688万人分)	(万人分)	目標	685	685	688	688	688
		実績	689	685	685	685	
安定水利権の割合(再掲) (安定水利権: 100%)	(%)	目標	70	70	70	100	100
		実績	70	70	70	100	
B	整備計画の見直しにより一部目標値(備蓄水量の確保)が未達成であるが、アクションプランの進捗は概ね良好であるため、B評価とする。						
3 将来も事業を持続するための強固な経営基盤を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率 (100%以上を維持)	(%)	目標	100	100	100	100	100
		実績	110.5	108.7	107.5	106.2	
有形固定資産減価償却率 (平成28年度 (= 55.5%) 水準に維持)	(%)	目標	55.5	55.5	55.5	55.5	55.5
		実績	56.1	57.2	59.1	60.5	
B	計画期間中の目標のうち、有形固定資産減価償却率については目標値を5.0%上回っているが、水準をほぼ維持しているものと見なせる。 一部のアクションプランで目標を達成していない項目はあるが、新型コロナウイルスの影響によるものであり、その他は目標指標に達している。 従って、進捗状況は概ね良好なため、B評価とする。						

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和2年度進捗状況の評価
 (3) 「第4次企業局経営5か年計画」の令和3年度目標数値の設定

Ⅲ 地域整備事業 進捗状況管理シート（概要版）

1 圏央道等の優れた地域資源や公的機関の経営資源を活用して産業団地整備に取り組みます。			H29	H30	R1	R2	R3
新たに整備する産業団地の面積 100ヘクタール (ha)	(ha)	目標	20	40	60	80	100
		実績	14	51	51	69	
B	アクションプランの年度目標は達成していないが、計画期間中の目標は概ね達成しており、B評価とする。						
2 産業振興と地域振興を推進するためのより強固な経営基盤を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
計画期間中の各団地の収支を黒字にします。		目標	黒字	黒字	黒字	黒字	黒字
		実績	黒字	黒字	黒字	黒字	
A	計画期間中の目標を達成し、アクションプランについても年度目標を全て達し進捗状況は良好のため、A評価とする。						

6 その他

「次期（第5次）企業局経営5か年計画」作成に向けた状況

「次期（第5次）企業局経営5か年計画」作成に向けた状況

次期（第5次）企業局経営5か年計画の作成スケジュール（案）

時 期	内 容
令和3年 7月21日	第1回 経営懇話会
8月	企業局内の担当責任者で素案作成、検討
9月	企業局内の策定委員会 素案審議
10月	県民コメント 素案を公表、県民から意見を募集
11月	第2回 経営懇話会（仮） 書面開催を予定 県民コメント後の素案を報告
12月	企業局経営会議 次期5か年計画を審議
令和4年 1月	
2月	議会（産業労働企業委員会）に行政課題の報告（予定）

7 閉会
